

関西ペイント KP女子ペイントチームが塗ってみました！

# 「POLKA DOT DREAMS」&「In the Mood」 ペイント事例のご紹介



皆様こんにちは、関西ペイント(株) 経営企画部の由良和美です。  
関西ペイントでは、社内の女性たちが集まって「K P女子ペイントチーム」というDIYペイントサークルを結成し、インテリア×ペイントの楽しさを広めるための活動を行っています。今回はその一つとして、SPACES 18号の25ページに掲載されている「POLKA DOT DREAMS(ポルカ・ドット・ドリームス)」と、関西ペイント カラーフォーキャスト2017のcolour of the yearに選ばれた「In the Mood(イン・ザ・ムード)」をペイントした活動事例をご紹介します。

## ( PART: I ) 殺風景な自動販売機スペースを水玉柄のステンシルで爽やかにリフレッシュ



▲ Before



▲ After

- ◆ 参考デザイン: PACES 18号25ページ「POLKA DOT DREAMS」  
SPACES本誌では、ガーリーな女の子の部屋向けに提案されていた水玉柄でしたが、自販機＝炭酸＝泡の連想でピッタリ!とこのデザインに決めました。
- ◆ 使用塗料:【PXI's】ベース:EC25 Dried Leaf 1kg ステンシル:EC105 Feathery 1kg
- ◆ 塗装場所:関西ペイント尼崎事業所内 自動販売機スペース
- ◆ 作業時間:約7時間、女性4名で塗装



1 塗装しない部分をしっかり養生



天井や壁の塗らない部分はもちろん、内線電話や自販機もしっかりと養生。際のところもマスキングテープを丁寧に貼ります。テープは押さえて空気を抜いていきます。

2 クリーム色「Dried Leaf(ドライドリーフ)」を二度塗り



塗りやすいように塗料を水で希釈したら、下地として「ドライドリーフ」を二度塗りします。小さめのローラーや刷毛を使って天上際や障害物の周りから塗り始め、広い部分は幅広のローラーを使って仕上げていきます。広い部分は最初に「W」の形に塗料を配り、その塗料をのぼすように上下へ広げていきます。リキッドファンデーションをのぼす時の感覚に似ています。最後に、下から上へ、軽くスーツ、スーツとローラーで全体を撫でることでムラや筋を馴染ませ、均一に仕上げます。

3 水色「Feathery(フェザリー)」でステンシルに挑戦！



下塗りが乾くまでの間、クリアファイルを丸型にくり抜いて作った手作りのステンシル型で画用紙の上に練習をします。水色「フェザリー」をバットに出し、海綿に付けてポンポンと紙を叩くようにペイント。最初は海綿に塗料をたくさんつけすぎて、円形からはみでてしまいましたが、何度か練習するうちにだんだんとコツがつかめ、キレイな円形が描けるようになりました。



## 4 ランダムに水玉をステンシル



壁一面をキャンバスに、大中小のステンシル型を使って、水玉をランダムにステンシル。ステンシルしたい場所に型を貼り、少し離れたところから全体のバランスを見ながらレイアウトを決めていきます。



チーム内にはステンシルをするのは初めてという人が多かったのですが、思ったより簡単で、準備から乾燥、片付けまで約7時間で完成。自分の好きな色や模様オリジナルデザインで内装を変えることができるのも、ペイントの魅力だと改めて感じました。ローラーや刷毛とはまた違うやわらかい雰囲気仕上がり、シュワっと清涼感溢れる憩いのスペースに生まれ変わらせることができました。

## ( PART:2 )トレンドカラーをとり入れてお客様をお迎えする受付ロビーをシックにリニューアル



▲ Before



▲ After

- ◆ 参考デザイン: 関西ペイント カラーフォーキャスト2017 colour of the year「In the Mood」 年季の入った事業所の受付を若返らせたい!でも派手なデザインはNG…。こんな時こそ、どんな色とも調和して上品さを演出すると噂の関西ペイント2017年イチオシカラー「イン・ザ・ムード」を使ってみよう。ということで決めました。ブラウンは腰板をイメージしています。
- ◆ 使用塗料: 【PXI's】 上部: O6-E2-3 In the Mood 2kg 下部: EC30 Trade Winds 1kg
- ◆ 塗装場所: 関西ペイント尼崎事業所内 受付ロビー
- ◆ 作業時間: 約7時間、女性4名で塗装



1 色の境目をブロッキング



養生は地味で手間のかかる作業ですがこれさえしっかりできれば、ペイントの8割は終わったようなものです。作業しやすいように床にブルーシートを敷き、中央のガラス部分やコンセントもしっかりとマスキング。今回は、ツートンで仕上げるので、後から塗る部分は基準としたロビー造作の高さに合わせてブロッキングしておきます。

2 壁の上部をグレイジュ色「In the Mood (イン・ザ・ムード)」で二度塗り



塗りやすくなるよう塗料に水を入れ、スプーンなどで混ぜて希釈します。バケツに移し、ローラーに塗料を含ませたら、余分な塗料をしごき落とし、垂れないように注意。準備ができたらよいよペイント開始です。



最初に、ライン際や天井際などの細かいところは刷毛を使って塗り、残りは幅広のローラーで「W」の形に塗料を配り、乾かないうちに手際よく広げていきます。



### 3 マスカー下を茶色「Trade Winds(トレードウィンズ)」で二度塗り



上部が乾いたら、マスカーを剥がして下部に「トレードウィンズ」を二度塗りし、ツートンカラーに仕上げています。上部と同じように最初は刷毛で際を塗ってから幅広のローラーを使い、コンセントなどの際は小筆を使って丁寧に仕上げました。



当初は受付の壁にもスタンプ型を使ってステンシルをする予定でしたが、壁が凹凸のあるタイプだったため、柄がかすれたり潰れたりしたので断念。また、乾いた後に養生を剥がすと、テープの隙間から塗料がはみ出ている境目がギザギザになっていたため、同じ塗料を上塗りして補修するなど、予定通りに行かないところもありました。ただ、全体的にペイントはスムーズに行なえ、すべての作業は約7時間で完了。グレージュと茶色のツートンカラーは落ち着きのある雰囲気を出し、お客様をお出迎えするのにふさわしい、素敵なロビーに生まれ変わらせることができました。

既存の塗り壁や壁紙の上からだけでなく、大きめの有孔ボードや貼ってはがせる壁紙でカバーするなどの工夫で、最近は賃貸のお宅でもペイントを楽しむトレンドが浸透してきているように感じます。まずはアクセントウォールから。お部屋のイメージアップに、ぜひペイントを試してみてください！

\*カラーフォーキャストについてお知りになりたい方は、下記をクリック!  
<http://www.kansai-pxi.com/special/cfc2017.html>

